



令和5年度白山手取川ジオパーク活動報告



白山手取川ジオパーク推進協議会

目次



白山手取川ジオパークイメージキャラクター
ゆきママとしずくちゃん

令和5年度活動報告

1	保護・保全	1
2	教育・研究	
	(1) 学校における教育活動	1
	(2) 高等教育機関との連携	4
	(3) 公民館等による社会教育活動	6
	(4) 水の旅学学習会の開催	7
	(5) 石の標本づくり	8
	(6) 手取峡谷で石ころ探し	8
	(7) 学術振興事業	8
3	ツーリズムの推進	
	(1) ジオツアーの開催・ガイド養成	9
	(2) 新商品開発費の助成	12
	(3) 水の旅案内人事業	12
	(4) 看板等ジオパークの基盤整備	13
4	マーケティング	
	(1) 各種広報・啓発活動	14
	(2) 看板広告等による広報・啓発活動	16
	(3) イベント等の実施による啓発活動	17
	(4) キャラクターによる広報・啓発活動	17
5	ネットワーキング	
	(1) ジオパークネットワークにおける活動	19
	(2) 白山ユネスコエコパークとの連携	21
	(3) 民間団体との連携協定の締結	22
	(4) その他の連携活動	23
6	活動実績 (R3～R5)	24
7	推進体制 (R3～R5)	24

1 保護・保全

自然公園法、文化財保護法による巡視体制との連携により、地域遺産の監視体制を引き続き行っている。また、日本郵便（株）との協定に基づく地域資産のパトロールや、エリア内で活動する民間団体との連携協定に基づいた日々の活動のなかでの巡視により、白山手取川ジオパークの資源や解説看板等の、汚損、破損状況などを連絡・通報する体制を継続してとっている。また、ジオサイト等に整備しているビュースポット周辺の見学地保全のため草刈りなどを定期的に行っている。

2 教育・研究

(1) 学校等における教育活動

小中学校や高等学校、体験イベント等においてジオパークを活用した学習を行った。

① ジオパーク遠足等の実施

白山市教育委員会協力の事業である感性のびのびジオパーク遠足を19小中学校で、延べ33回行った。各遠足では、ジオパーク学習支援員が活動をサポートした。

※ジオパーク学習支援員：退職教諭を中心としてグループを結成。

フィールド学習や総合的学習等においてジオパークを学習する際に教員を支援。令和5年度末時点では12名が活動中。

ジオパーク遠足の様子



朝日小3年生 お台場の水にて



北陽小3年生 百万貫の岩

令和5年度 ジオパーク遠足等、小中学校のフィールド学習実績

No	実施日	学校名	地域	学年	行き先
1	4月28日	光野中学校	松任	1	鶴来
2	5月9日	北星中学校	松任	1	中流域
3	5月23日	朝日小学校	鶴来	3	美川
4	6月2日	広陽小学校	鶴来	3	白峰
5	6月6日	東明小学校	松任	3	松任
6	6月13日	北陽小学校	松任	3	美川
7	6月14日	松任小学校	松任	3	白峰
8	6月20日	旭丘小学校	松任	3	松任
9	6月27日	鳥越小学校	白山ろく	6	美川
10	6月28日	松任小学校	松任	3	鶴来
11	6月29日	美川小学校	美川	4	鶴来
12	6月30日	広陽小学校	鶴来	3	鶴来
13	7月4日	河内小学校	白山ろく	3, 4	白峰
14	7月5日	蝶屋小学校	美川	6	美川
15	7月6日	東明小学校	松任	4	鶴来
16	7月7日	美川中学校	美川	1	美川
17	9月15日	北陽小学校	松任	3	白峰
18	10月3日	広陽小学校	鶴来	3	美川
19	10月5日	河内小学校	白山ろく	3, 4	美川
20	10月6日	松任小学校	松任	3	美川
21	10月16日	北陽小学校	松任	4	七ヶ用水
22	10月17日	湊小学校	美川	3	松任
23	10月17日	鶴来中学校	鶴来	1	鶴来、中流域、白峰
24	10月18日	旭丘小学校	松任	4	七ヶ用水
25	10月20日	旭丘小学校	松任	5	白峰
26	10月24日	蝶屋小学校	美川	5	白峰
27	10月26日	白峰小学校	白山ろく	全校	美川
28	10月31日	松任小学校	松任	4	七ヶ用水
29	11月1日	蕪城小学校	松任	4	七ヶ用水
30	11月6日	松陽小学校	松任	4	七ヶ用水
31	11月14日	石川小学校	松任	4	七ヶ用水
32	11月17日	千代野小学校	松任	4	七ヶ用水
33	11月28日	美川小学校	美川	4	七ヶ用水

②高等学校における学習活動

鶴来高等学校において、協議会事務局員や白山手取川ジオパーク学習支援員による出前学習会の実施と、フィールド学習を行った。当校では、平成27年度より継続してジオパークに関する学習活動が行われている。

③ジオパーク課外活動の実施（感性のびのびジオ・サタデー）

市内小学生を対象とした、白山市教育委員会の事業である感性のびのびジオ・サタデーの運営に協力し、自然や文化、歴史への総合的な理解を深めるためのジオパークを通じた体験学習を実施した。（全7回実施）



第2回 白峰



第5回 吉野谷

④子どもジオパーク博士の養成

昨年度に引き続き、金沢星稷大学人間科学部こども学科の学生とともに、「感性のびのびジオ・サタデー」の特別編である「目指せジオパーク博士 教室は白山の大自然だ！」の企画・運営を行った。当該学科は教員免許の取得を目指す学生が多く、参加する子どもたちがジオパークへの理解を深められるだけでなく、学生自身も在学期間中に子どもと実際に触れ合い、将来のビジョンを描きやすくすることにも繋がっている。

（10月7日実施 参加者12名）

「目指せジオパーク博士 教室は白山の大自然だ！」の様子



⑤教員を対象とした研修会の開催

現職の教員が自らの力でジオパーク教育を進められるよう、夏休み期間を活用し、市教員を対象とした研修会や公益法人日本地震学会との共催で、教員免許更新講習などを継続して実施していたが、教員免許更新制度の廃止やジオパーク以外の教員研修会が増加したことにより、令和3年度より実施日を指定した研修会の開催はなしとした。代わりに、研修を希望する学校、教員がいれば、個別に対応する方針へ変更した。

⑥大人のジオパーク遠足の開催

ユネスコ世界ジオパーク認定記念事業として、小中学生に対して行っている「ジオパーク遠足」を、学習支援員の案内で白山市民に向けて行った。



「大人のジオパーク遠足」実績

No.	実施日	行き先	参加人数
1	2月18日	白峰	20
2	3月10日	美川	20
3	3月17日	鶴来	20
4	3月20日	松任	20

(2) 高等教育機関との連携

地球科学に限らず、様々な分野において多数の高等教育機関と連携して事業を行っている。

①金沢大学「地域概論授業」

平成28年度より、金沢大学とは1年生を対象とした、地球科学と地域とのつながりを考える授業を継続して行っている。

②金沢大学「異文化体験授業」

当協議会の専門員が講師となって、出前授業及びフィールド学習と海外のジオパークとのオンライン国際交流を令和2年度より継続して実施している。

③金沢星稜大学「子どもジオパーク博士になろう」

平成28年度より、金沢星稜大学人間科学部こども学科の学生と、白山市生涯学習課との共催で「子どもジオパーク博士になろう」事業を継続して実施している。

④北陸学院大学「ミッション・イノベーション・プロジェクト」

当協議会専門員が講師となって、北陸学院大学社会学科の学生に対し、実践型人材育成プロジェクトの授業が行われた。学生より白山手取川ジオパークを活用した課題解決に向けた提案が行われた。

⑤白山ロータリークラブ×金城大学短期大学部美術学科コラボジオパーク研修

白山ロータリークラブと金城大学短期大学部美術学科がコラボして行っている、千代女に関するPR活動にジオパークを絡め、ジオパークについての知識を取得する研修を行った。

⑥金沢大学キャリア支援パネルディスカッション

当協議会専門員が講師となって、金沢大学の学生や大学院生などに対する大学院進学などのキャリア支援イベントが行われた。

⑦筑波大学フィールド学習の受け入れ

筑波大学が実施するフィールド学習の受け入れとサポートを行った。ジオパークとエコパークの連携、活動や管理運営について、大学生と事務局が意見交換を行った。

筑波大学受け入れの様子



(3) 公民館等による社会教育活動

学習講座等の教育活動を計 39 回実施した。各公民館や企業からの研修依頼等に対応し、まちかど市民講座や水の旅案内人講座を実施した。

令和 5 年度実施事業

No.	日付	事業名	対象者
1	4月6日	まちかど市民講座	白山市遺族連合会
2	4月14日	まちかど市民講座	吉野谷老人クラブ連合会
3	4月27日	講演・研修依頼	白山商工会
4	5月17日	まちかど市民講座	松任親交会
5	6月16日	講演・研修依頼	LODU, 金沢工業大学
6	6月17日	講演・研修依頼	北陸地盤工学研究会
7	6月26日	まちかど市民講座	石川情報交流事業協同組合、ベトナム人技能実習生
8	6月29日	講演・研修依頼	白峰まちづくり協議会
9	7月10日	講演・研修依頼	石川県旅館ホテル生活衛生組合 石川支部総会
10	7月12日	まちかど市民講座	松任地域老人クラブ連合会
11	7月20日	まちかど市民講座	内方新保睦寿会
12	7月20日	講演・研修依頼	白山商工会建設工業部会
13	7月22日	講演・研修依頼	金城大学公開講座
14	7月26日	まちかど市民講座	美川公民館
15	8月9日	講演・研修依頼	白山ロータリークラブ×金城短期大学部美術学科
16	8月10日	講演・研修依頼	野々市市民 (ののいちコミュニティカレッジ)
17	8月19日	講演・研修依頼	北陸地盤工学研究会
18	8月23日	講演・研修依頼	白山ロータリークラブ×金城短期大学部美術学科
19	8月24日	講演・研修依頼	白山市職員
20	8月31日	講演・研修依頼	白山市職員
21	9月1日	講演・研修依頼	石川県建設業協会女性部
22	9月13日	講演・研修依頼	日本保育協会
23	9月28日	まちかど市民講座	石川情報交流事業協同組合、ベトナム人技能実習生
24	10月6日	まちかど市民講座	白山南更生保護女性会館畑地区
25	10月12日	まちかど市民講座	白山南更生保護女性会林地区
26	10月15日	講演・研修依頼	石川地区文化祭
27	10月23日	講演・研修依頼	石川県庁職員
28	10月29日	まちかど市民講座	柏野壮年会
29	10月31日	講演・研修依頼	白山建設

30	11月2日	まちかど市民講座	銀星クラブ
31	11月17日	まちかど市民講座	鶴来地区身体障害者福祉協会
32	12月8日	まちかど市民講座	加賀地区老人クラブ連絡会
33	12月12日	講演・研修依頼	放課後児童支援員
34	1月26日	まちかど市民講座	あさがおハウス
35	2月15日	講演・研修依頼	白山市学校図書館司書部会
36	2月19日	まちかど市民講座	青葉クラブふれあいサロン
37	2月25日	講演・研修依頼	おひさまぼっこ
38	2月27日	まちかど市民講座	加賀野公民館
39	3月12日	まちかど市民講座	白山市健康体操クラブ協議会

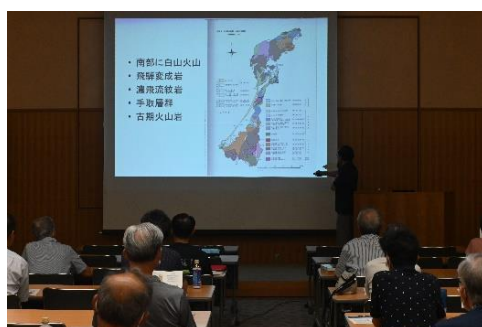
(4) 水の旅学学習会の開催

平成25年6月より、地形、岩石等様々なジオパークの分野を専門とする研究者などによる水の旅や石の旅に関する講演会及び現地見学会を実施している。令和5年度は「世界に誇るジオパークの宝」をメインテーマに、ユネスコ世界ジオパーク認定を機に、改めて地域内外に向け白山手取川ジオパークの大地の価値と魅力を発信するとともに、価値の再確認を図ることで、次の再審査に向けた一層の活動活性化・域内連携を図るべく、白山手取川ジオパークの魅力について等を学ぶ講座を開講した。

令和5年度 水の旅学

	実施日	講師	テーマ
第1回	9月17日	小泉武栄氏 (東京学芸大学名誉教授)	白山手取川ジオパークの地形・地質の成り立ちと植生

※特別編は別途実施



講義の様子



現地見学会

(5) 石の標本づくり

小学4年生以上の子どもと保護者を対象とし6月11日、10月29日に実施した。金沢大学理工学域と石川県地質調査業協会との3社を主催として、地質調査や大地のづくりに興味を持ってもらうことを目的に毎年春と秋に実施している。

参加したのべ64名の子どもたちは、多様な石が見つかる道の駅しらやまさんの河原で石を探し、金沢大学の教授や地質調査業協会の職員に石の種類やでき方を教わりながら標本箱を作った。

(6) 手取峡谷で石ころ探し

石川県白山自然保護センターと令和元年度より共催で行っている、親子向け事業「手取峡谷で石ころ探し」を令和5年度も実施した。川の働きや峡谷の成り立ち等について講義を行った後、バードハミング鳥越の河原にて岩石や地層の観察をし、大地のづくりや地形・地質のダイナミックさを体感した（10月21日実施、参加者20名）。

(7) 学術振興事業

白山手取川ジオパークにおける人文科学・自然科学・工学（防災）の分野に関する研究助成を通じて、白山手取川ジオパークの学術振興を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に研究助成事業を行った。今年度は3件が採択され、研究成果については、3月17日開催のジオパーク学習会「水の旅学」の特別編を開催して発表した。

令和5年度に採択された研究テーマ

- ・白山の山岳反射・山岳回折を利用した長距離電波伝搬実験
- ・白山手取川ジオパークの雪資源を活用したエネルギー消費抑制に関する実証実験・産業用冷凍冷蔵倉庫における電力消費の最適化
- ・UAVを用いた手取川における植生域の変化と砂礫堆の地形変化の検討

「水の旅学」特別編での研究発表の様子



3 ツーリズムの推進

(1) ジオツアーの開催・ガイド養成

白山手取川ジオパークを訪れた人の満足度をさらに高められるよう、継続して、各ジオツアーやガイド養成講座を実施している。

①魅力あるジオツアーの企画・開催

「いしかわ百万石文化祭2023」において、伝統文化の源をたどる体験ツアーとして、2件のジオツアーを企画・実施した。ツアーの企画は白山市観光連盟および公認観光ガイドと連携して行った。

ジオツアーの様子



実施ツアー一覧

開催日	ジオツアーコース名	参加人数
10月14日	ジオ博士と行く、どっぷりはまる化石ツアー	20
11月10日	白峰の里山から世界につながる美の伝統	39

②毎日開催型のジオツアーの企画

毎日開催ジオツアーは、白山市観光連盟主催ツアーの一つとして、昨年度に引き続き継続して実施した。この他、プライベートジオツアー、団体でのジオツアーが行われた。

(通年実施 参加者延べ486名)

③教育旅行事業

白山手取川ジオパークを活用した教育旅行を、市観光連盟と連携して誘致・推進している。令和5年度は2校の中学校の修学旅行を対応した。

実績

No	実施日	学校名
1	5月31日	千葉県船橋市立飯山満中学校
2	9月27日	千葉県船橋市立海神中学校

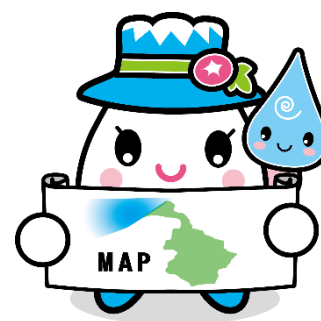
④公認観光ガイド養成講座および登録資格認定試験の実施

白山手取川ジオパーク公認観光ガイドの養成を目的として、全13回の講座を開講した。養成講座には21名の一般受講者があり、座学だけではなく、ガイドとして必要な技能を習得するための現場実習や救命救急研修などを実施した。認定試験には、筆記試験として白山検定の問題を使用したほか、面接試験を実施した。

また昨年度に引き続き、将来的な担い手を育成する目的も含め、ガイド養成講座を金城大学短期大学部の授業の一環として実施し、同大学部の学生が受講した。若い世代の感覚を身近に感じることで、一般受講者の経験値アップにもつながっている。

その他、日本ジオパークネットワークが関連するガイド研修を活用し、市観光連盟によるガイドスキルアップ講座を開催した。

養成講座の様子



令和5年度 白山手取川ジオパーク公認観光ガイド養成講座及び認定試験

研修項目	日時	研修内容
▲オリエンテーション 白山市の観光の現状	6月7日	白山手取川ジオパーク公認観光ガイドについて
▲ジオパーク山と雪のエリア	6月14日	山と雪のエリアについて
▲ジオパーク川と峡谷のエリア	6月21日	川と峡谷のエリアについて
▲ジオパーク海と扇状地のエリア	6月28日	海と扇状地のエリアについて
▲ツアーを作ってみよう	7月5日	グループワーク
▲ガイド台本をつくってみよう	7月12日	グループワーク
★ホスピタリティー&マナー①	7月19日	白山認定ガイドとしての接遇、おもてなし、マナー①
★現地研修①	7月29日	実地研修
★現地研修②	8月26日	実施研修
▲白山手取川ジオパークの歴史と文化①	10月4日	歴史と文化について①
▲白山手取川ジオパークの歴史と文化②	10月18日	歴史と文化について②
★ホスピタリティー&マナー②	11月8日	白山認定ガイドとしての接遇、おもてなし、マナー②
▲白山手取川ジオパークの動植物	11月29日	動植物について②
★救命救急	各自受講	普通救命講習（白山野々市広域消防本部）
登録資格認定試験（面接）	1月20日 1月22日 1月23日	10分程度の面接（実技を含む）
登録資格認定試験（筆記）	2月23日	白山検定の問題を使用

★：必修科目 ▲：普通科目

※白山手取川ジオパーク公認観光ガイド養成講座を修了するには、必須科目を全て履修し、かつ普通科目を6科目以上履修する必要がある。

※白山手取川ジオパーク公認観光ガイドの登録資格を得るためには、養成講座を修了してから2年以内に公認観光ガイド登録資格認定試験の面接と筆記に合格する必要がある。

(2) 新商品開発費の助成

白山手取川ジオパークにちなんだ新商品の開発に対する助成金事業を行った。市内の法人又は個人事業主が新商品を開発するために要する経費に対し、予算の範囲内で1件あたり上限10万円を助成し、エリア内外における普及・啓発とともに、地域経済のさらなる活性化や、ジオパーク関連のお土産をより充実させることを図った。(助成実績：2件)

当事業を用いて開発された商品



サイクルウェア



「ゆきママとしずくちゃん」クッキー

(3) 水の旅案内人事業

日常生活の中で家族や知人に、又は日々の業務の中でお客様にジオパークの魅力や見どころをPRする、水の旅案内人の講座を計7回開催した。はくさん信用金庫、NEXCO 中日本など、新たに112名が水の旅案内人となった。

実績

No.	日付	実施対象者	人数
1	7月13日	はくさん信用金庫松任支店	20
2	7月14日	はくさん信用金庫美川支店	16
3	7月18日	はくさん信用金庫つるぎ営業部	19
4	7月24日	北陸銀行松任、美川、東京支店	27
5	8月3日	NEXCO 中日本	7
6	11月10日	協議会主催(新規・更新講座)	17
7	12月5日	白山青年の家	6

(4) 看板等ジオパークの基盤整備

ユネスコ世界ジオパーク認定に伴い、案内看板やビュースポット看板において、ユネスコ世界ジオパーク、GGNとAPGNロゴのシールを貼る整備を行い、ビジビリティ（可視性）向上を図った。なお、令和5年度中に、GGNとAPGNロゴの統合があり、それ以後盤面張り替えた看板にはAPGNのロゴは入っていない。

加工後の看板（シール貼付）



貼付したロゴ



盤面張り替えした看板

No.	場所	種類	理由
1	西山（白峰）	ビュースポット	劣化
2	獅子吼高原	楕円看板	定期的更新
3	松任グリーンパーク	ビュースポット	劣化
4	小川PA	ビュースポット	劣化
5	松任駅立体駐車場マツトーレ屋上	楕円看板	故障

4 マーケティング

(1) 各種広報・啓発活動

市広報紙やインターネット、ケーブルテレビなどを利用して、情報発信を行った。

①「広報はくさん」を活用した啓発

白山市の広報紙「広報はくさん」を利用して、白山手取川ジオパーク公認観光ガイド養成講座への参加募集や、ユネスコ世界ジオパーク認定記事、モロッコ世界大会の記事などを投稿した。

②「あさがおテレビ」と連携した啓発

市内で視聴可能なケーブルテレビ「あさがおテレビ」と連携し、シリーズテーマを「Show me!白山手取川ジオパーク」とする番組を放送した。県内在住の外国人とともに、白山手取川ジオパーク内のジオスポットを巡る構成で、毎月1回、計12回の番組を制作した。

③インターネットによる情報提供（エリア外への普及啓発を含む）

令和2年度より、SNSにてイベント情報などの広告を掲載しており、今年度も6月、8月、9月、10月の期間限定で実施した。

6月のSNS広告は、ユネスコ世界ジオパーク認定を周知する広告を配信した。また、8月～10月にかけては、白山手取川ジオパークの定期観光バスの宣伝を行うと同時に、白山手取川ジオパークそのものについて周知を行うために、「白山手取川ジオパークとは？」と題したコミック風の解説ページにアクセスできる広告を掲載した。

4か月間の実績として、合計3,864クリック、延べ2,058,243人のリーチ数(広告を見た人数)、5,546,170回のインプレッション数(広告表示回数)の実績があった。

SNS 広告で掲載した「白山手取川ジオパークをみんなで守ろう！」の画像



また、Facebook、InstagramなどのSNSや協議会HPのブログページを活用し、白山手取川ジオパークに関連するイベント情報や観光情報などについて普及した。

令和5年度の投稿数

媒体	投稿数
Facebook	12
Instagram	36
HP（ブログページ）	29
HP（イベントページ）	16

令和5年度HP閲覧結果

年度	ユーザー数	ページビュー数
令和5年度	455,956	667,049

④イベント時における紹介ブースの設置

獅子吼高原で行われたサンセットゴンドラの営業時や、白山比咩神社で開催されたどんじゃら市、白山手取川ジオパーク世界認定記念綿ヶ滝まつり等のイベントに合わせ、白山手取川ジオパーク輪投げコーナーを出店し、普及活動に努めた。また、北陸先端科学技術大学院大学主催のJAISTフェスティバルには、パネル・パンフレットを設置し出展した。8月5日から10日にかけては、金沢駅でのパネル・写真展示も行った。雪だるままつりは、令和6年能登半島地震の影響により、中止。

⑤各種パンフレットの作成

ユネスコ世界ジオパーク認定に合わせ、概要パンフレットと「水と旅する。」のパンフレットの改訂を行った。概要パンフレットは、日本語23,000枚、英語300枚、「水と旅する」は、日本語8,000枚、英語2,000枚作成した。

(2) 看板広告等による広報・啓発活動

広告活動として、広く多くの人目に留まるように、看板広告等の掲示を行った。

①金沢駅及び小松空港での啓発活動

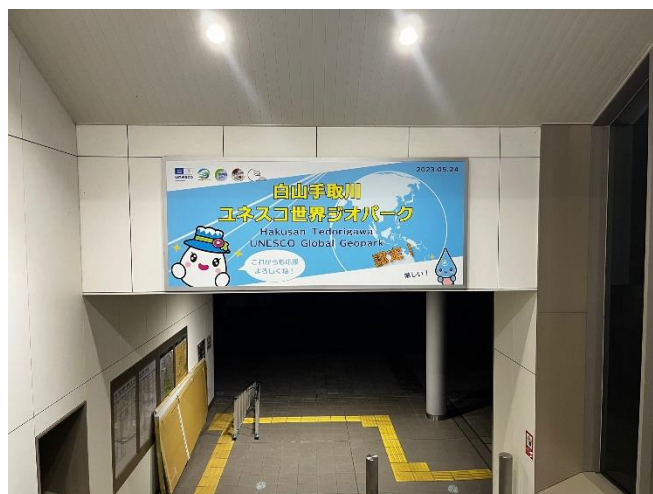
金沢駅コンコースのデジタルサイネージを利用し、6月1日から8月31日までの3か月間、広告動画を掲出した。今年度はユネスコ世界ジオパーク認定に合わせ、白山手取川ジオパークを周知するための動画を掲出した。また、小松空港では、ユネスコ世界ジオパーク認定記念横断幕を掲げた。

②北陸鉄道車両へのヘッドマークの取り付け

北陸鉄道石川線の一部車両に、ゆきママとしずくちゃんをメインデザインとしたヘッドマークを取付け、白山手取川ジオパークの啓発を行った。また、今年度は鶴来駅から近い獅子吼高原のPRも兼ね、パラグライダーのゆきママとしずくちゃんデザインにリニューアルした。

③松任駅での看板掲示

JR松任駅南口の階段上の看板を、世界認定を記念した看板に差し替えを行った。



(3) イベント等の実施による啓発活動

当協議会が主催となり、アニメや映画等で活躍する声優を招聘した「白山手取川ジオパーク世界認定記念公演 声優トークショー&オリジナル朗読劇 in 白山」を12月10日に開催した。白山手取川ジオパークを題材に、声優3名による掛け合いでトークショーを繰り広げた。白山手取川ジオパークのキャラクターであるジオ博士やゆきママとしずくちゃんも登場することで、地域の魅力や大地の成り立ちについてPRした。来場者は1,186人であり、参加者層は10～20代の若い世代が多く、これまで白山手取川ジオパークを訪れたことのない市外・県外の方といった、新規客層をターゲットにすることができた。



(4) キャラクターによる広報・啓発活動

イメージキャラクターの「ゆきママとしずくちゃん」を活用した広報活動を行い、白山手取川ジオパークの知名度の向上に取り組んだ。

①着ぐるみの貸し出しによる普及・啓発

各種団体にイメージキャラクターの着ぐるみを貸し出し、より多くのイベントなどにおいてキャラクターを通じたジオパークの認知度を高める活動を行った。なお、当協議会によるキャラクターの出動分と貸出件数を合わせると、令和5年度は全20回となった。

②各種印刷物等へのキャラクターの掲載

各種団体からの要望に応じ、各種印刷物等へイメージキャラクターの掲載を行い、白山手取川ジオパークの啓発に取り組んだ。(全53件)

③ゆきママとしずくちゃんLINEスタンプ

令和2年度に作成した「ゆきママとしずくちゃん」のLINEスタンプ（40種類）の販売数は16件であった。



着ぐるみ貸し出しの様子



ゆきママとしずくちゃんLINEスタンプ



「ゆきママとしずくちゃん」使用例
(企業説明会に使用したスライド)

5 ネットワーキング

(1) ジオパークネットワークにおける活動

令和5年度は、ユネスコ世界ジオパーク認定に伴い、白山手取川ジオパークにとってネットワーク活動、とりわけ国際ネットワーク活動が大きく動いた一年となった。またこの他にも、モロッコで行われた国際会議やJGN全国研修会等への参加、ジオパークネットワークを活用したフィンランドからの来客受け入れなど、国内外を問わず活動の幅を広げ、ジオパーク関係者や地元住民との交流が深まった。

① 第10回国際ユネスコ世界ジオパーク大会2023

モロッコのムグーンユネスコ世界ジオパークの近くのマラケシュ市で行われた本大会に、当協議会会長、白山市議会副議長、白山市観光文化スポーツ部長、当協議会国際連携専門員が参加し、他に金沢大学の青木氏、筑波大学の飯田氏、東京大学の坂本氏が協力で参加した。大会では白山手取川ジオパークの代表として、飯田氏、坂本氏、当協議会国際連携専門員が口頭発表、青木氏がポスター発表、全員が日本ジオパークネットワーク（JGN）ブースアテンドに携わった。また、ユネスコ世界ジオパークの認定に伴い、グローバル・ジオパーク・ネットワーク（GGN）の入会証を受け取った。



② インパクトクレーターレイクジオパーク（フィンランド）受け入れ

令和5年3月にユネスコ世界ジオパークに認定する見込みであったインパクトクレーターレイクジオパークの代表2名が白山手取川ジオパークを視察し、会長表敬（教育長同席）を行った。

③第18回日本ジオパーク全国研修会 in 糸魚川

2月7日～9日に糸魚川ジオパークで行われた第18回日本ジオパーク全国研修会に、当協議会の事務局員1名が参加した。グループワークを中心としたプログラムのなかで、研修テーマである「地質物品の保護と販売」について学びを深めた。

④特定非営利活動法人日本ジオパークネットワークにおける職員の実務研修

令和5年5月に白山手取川ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定されたことを受け、認定前後には、特にユネスコ国内委員会をはじめとした関係機関との連絡調整及び情報収集等に迅速に対応する必要があり、さらに、今後の日本ジオパークネットワーク内における白山手取川ジオパークの役割の重要性が高まる状況を鑑み、当協議会の事務局員1名を令和5年2月1日から約2年間、日本ジオパークネットワークに実務派遣している。

⑤ESDダイアログ

中部地方ESD活動支援センターが主催となって、北陸（富山、石川、福井）、長野、東海（岐阜、愛知、三重）を対象に各地域のESDの取り組みを繋げ、地域間ネットワーク構築を図る「ESDダイアログ2023」が開催され、当地域からは当協議会専門員が参加し、取り組みを発表した。当ダイアログは南アルプスジオパークが開催地となって開かれ、自然遺産を教材としたSDGs教材に関する意見交換や、ユネスコのエコパークプログラムに関する議論を深めた。



令和5年度 ジオパークネットワークにおける活動実績一覧

※JGN：日本ジオパークネットワークの略

GP：ジオパークの略 UGGp：ユネスコ世界ジオパークの略

開催日	名称	開催地
5月20日~21日	JGN 運営会議	千葉県・幕張
5月21日~26日	日本地球惑星科学連合(JPGU)2023年大会	千葉県・幕張
6月6日	新規認定ユネスコ世界ジオパーク地域歓迎 オンラインイベント	オンライン
8月29~30日	JGN 事務局長会議	東京都
9月6日~10日	第10回国際ユネスコ世界ジオパーク大会 2023	モロッコ・ム グーン UGGp
9月20日~21日	日本ジオパーク中部ブロック会議	苗場山麓 GP
10月27日~29日	第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東ブロック	銚子 GP、秩父 GP
10月26日~30日	SPTO 研修ツアー	白山手取川 UGGP
11月7~8日	インパクトクレーターレイクジオパーク受け入れ	白山手取川 UGGp
11月13~14日	鳥海山・飛島ジオパーク視察受け入れ	白山手取川 UGGp
11月18日~19日	ESD ダイアログ	南アルプス GP
12月15日	2023年度審査基準検討会議	オンライン
2月7日~9日	第18回日本ジオパーク全国研修会 in 糸魚川	糸魚川 GP
2月29日	APGN 会議	オンライン
3月22日	APGN ワークショップ	オンライン

(2) 白山ユネスコエコパークとの連携

南太平洋観光機構（SPTO）の関係者5名（フィジー2名、サモア1名、ツバル1名、バヌアツ1名）が、10月26日（木）～29日（日）に、国内のユネスコプログラム認定・登録地域の視察で白山市を訪れ、白山手取川ジオパークと白山ユネスコエコパークの視察を行った。

当日は当協議会専門員と、白山ユネスコエコパーク協議会事務局員が共同で対応し、白山手取川ジオパークのサイトや、白山ユネスコエコパークエリア内の世界文化遺産を見学した。

(3) 民間団体との連携協定の締結

白山手取川ジオパークのエリア内で活動する民間団体と連携・協力し、白山手取川ジオパークの活動に取り組むことによって、白山市の持続可能な発展に寄与することを目的とした「白山手取川ジオパークの推進に関する連携協定」を下記の1団体と締結した。これで連携協定団体は25団体となった。

- 令和5年度連携協定団体（1団体）
 - ・ サテライトサークル しらみね大学村

令和5年度連携協定締結式の様子



【参考】連携協定締結団体一覧

- 平成30年度締結団体（6団体）
 - ・ 白山しらみね自然学校
 - ・ 美川おかえりの会
 - ・ 白山スノーフェスティバル実行委員会
 - ・ 加賀白山ようござった
 - ・ 雪だるま実行委員会
 - ・ 白山ジオトレイル実行委員会
- 令和元年度締結団体（7団体）
 - ・ 白山市体育協会
 - ・ 白山一里野温泉観光協会おかみの会
 - ・ 東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会
 - ・ 白山麓ぶなもり自然塾
 - ・ アサギマダラファンクラブ白山
 - ・ 美川自然人クラブ
 - ・ ひまわりの集い実行委員会

- 令和2年度締結団体（5団体）
 - ・白山市吉野地域振興協議会
 - ・白山市ふるさと歴史研究協議会
 - ・白山自然ガイドボランティア友の会
 - ・白山市松任写真同好会
 - ・一般社団法人 石川県地質調査業協会

- 令和3年度連携協定団体（5団体）
 - ・東二口文弥人形浄瑠璃保存会
 - ・深瀬木偶回し保存会
 - ・深瀬桧細工工房
 - ・つるぎふるさと民話の会
 - ・白山温泉郷組合

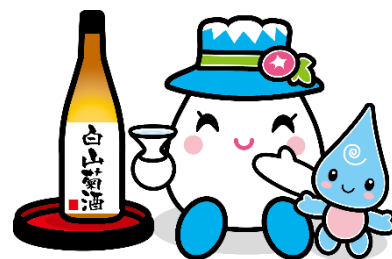
- 令和4年度連携協定団体（1団体）
 - ・QINO

（4）その他の連携活動

令和2年度6月、株式会社吉田酒造店からの寄付金贈呈を皮切りに、当該企業と白山手取川ジオパーク推進協議会、そして吉田酒造店のHP作成を手掛ける高桑美術印刷株式会社の3者で、環境保全をベースとした共同事業を展開する「Connect HAKUSAN」事業を立ち上げた。

令和5年度は、環境問題の啓発イベントを実施することに先立ち、Connect HAKUSAN メンバーで、フィールド研修や海外の講師によるオンライン研修を実施し、メンバー間で環境問題に対する知見を深めた。

なおオリジナル日本酒「吉田蔵u」シリーズの売上の一部を、令和6年5月に白山手取川ジオパーク推進協議会へ寄附いただいた。



6 活動実績（R3～R5）

区 分	R 3	R 4	R 5
各種出前講座・研修会開催回数	19回	31回	46回
キャラクター出動回数	11回	22回	20回
各種教育活動実施回数	39回	61回	39回
ジオ遠足実施回数	20回	30回	33回
ジオツアー実施回数	3回	24回	2回
水の旅案内人養成講座開催回数	1回	3回	7回
公認観光ガイド数	19人	25人	31人
ビュースポット（視点場）の整備箇所数	3箇所	3箇所	5箇所

7 推進体制（R3～R5）

区 分	R 3	R 4	R 5
協議会職員数 （うち専門員）	19人 （地質2 考古1）	18人 （地質2、考古1）	18人 （地質2、考古1）
専任職員数 （うち専門員）	8人 （地質2）	8人 （地質2）	7人 （地質2）
兼任職員数 （うち専門員）	11人 （考古1）	10人 （考古1）	11人 （考古1）

（各年4月1日現在）